

# 「海賊対処新法」を廃案に



## 兵は憲法改悪への道 事力より平和の力で

海賊を口実に  
世界のどこにでも  
自衛隊の派兵を狙う

政府は3月14日ソマリア沖の海賊対策として海上自衛艦2隻を派遣。さらにも、「海賊対処新法」を制定しようとしています。しかし、自衛隊派兵ありきではなく、国際協力による総合的な海賊対策を考えるべきです。

### 9条を持つ日本、資金・技術に援助を

ソマリア沖の海賊問題は、自然災害や内戦で疲弊し、軍や警察も機能せず、極度に貧困化した民衆の一部が民兵化し、海賊行為に走っていることに原因があります。

いま、国際海事機関の呼びかけで、周辺諸国は問題の解決へ

検討と取り組みを開始、各国の協力を呼びかけています。

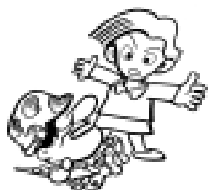
憲法9条を持つ日本こそ、まず自衛隊ありきではなく、これらの国々が国家として再建し国民生活が安定するよう、資金や技術の援助を直ちに取り組むべきです。

### 危険な「海賊新法」 武器使用権限を拡大、外国船も保護対象

麻生首相は、ソマリア沖に限定しない海賊対策の一般法である「海賊新法」を、4月中旬にも国会に提出したいとしています。

この法律では、保護の対象を日本人や日本の船、貨物だけでなく外国人、外国船にまで拡大。武器の使用も正当防衛・緊急避難に限定せず、「任務遂行」に

必要な範囲で可能にするとしています。保護の対象を外国人や外国船にまで広げることは、政府がこれまで憲法違反としてきた他国と共同して武器使用できる「集団的自衛権」の行使に踏み込むものです。



## 制裁強化ではなく冷静に外交努力を

### 北朝鮮の「ロケット」発射は地域の平和と安定に緊張をもたらさず行為

北朝鮮が5日、国際社会が反対しているにも関わらずロケットを発射した問題は、地域の平和と安定に緊張をもたらさずものであり極めて遺憾です。

この問題で、国会において「制

裁強化決議」が国会で可決しまし

べきです。

たが、今こそ冷静な対応が求められているのではないのでしょうか。

浜田防衛相らの「敵地攻撃能力保有論を」等の発言は緊張を高めるもので、今こそ、冷静な外交努

力が必要で、諸問題の解決をすすめる

力が必要で、諸問題の解決をすすめる